

【研修報告】

令和6年度 第4回 在宅医療・介護関係者研修会を開催しました

諫早市在宅医療・介護連携支援センター かけはしいさはや

『在宅医療における整形外科疾患』

令和7年3月26日 19時～20時

講師：竹迫 久享 先生

たけさこ整形外科クリニック 副院長



今回は、たけさこ整形外科クリニック副院長の竹迫久享先生をお迎えし、研修会を開催しました。

ロコモティブシンドローム、骨粗鬆症、寝たきり骨折という3つのテーマでお話しいただき、ロコモティブシンドロームでは簡単にできる診断方法や治療について、ロコモ度によっては整形外科受診も勧めたほうが良いことなど知ることができました。骨粗鬆症については、薬物治療をされている利用者さんについての質問もあり、皆様の関心が高かったように感じました。寝たきり骨折については、圧迫骨折や大腿骨頸部骨折などの骨折時の特徴や対応などお話しいただき、これからの業務に活かしていただければと思います。

どのお話からも“予防”という観点が非常に大切であることを、改めて認識する研修会となりました。

また、今回もかけはしいさはやのホームページにて期間限定でYouTube 配信を行い、14名の方が視聴されました。

令和7年度も、多くの方にご参加いただけるような研修会を検討してまいります。

参加者の感想(一部抜粋)

- ・整形外科受診の目安を知ることができました。
利用者様からの相談があれば、アドバイスをしたり、専門職に繋がられるように支援していきたいと思います。
- ・知ってそうで知らないことがあり、大変勉強になりました。
食事、日光浴など、具体的な内容も教えていただき、今後利用者様に転倒予防、骨折予防となるよう支援を行っていききたいと思います。
- ・生活や予防に特にポイントをあてていただき、わかりやすかったです。

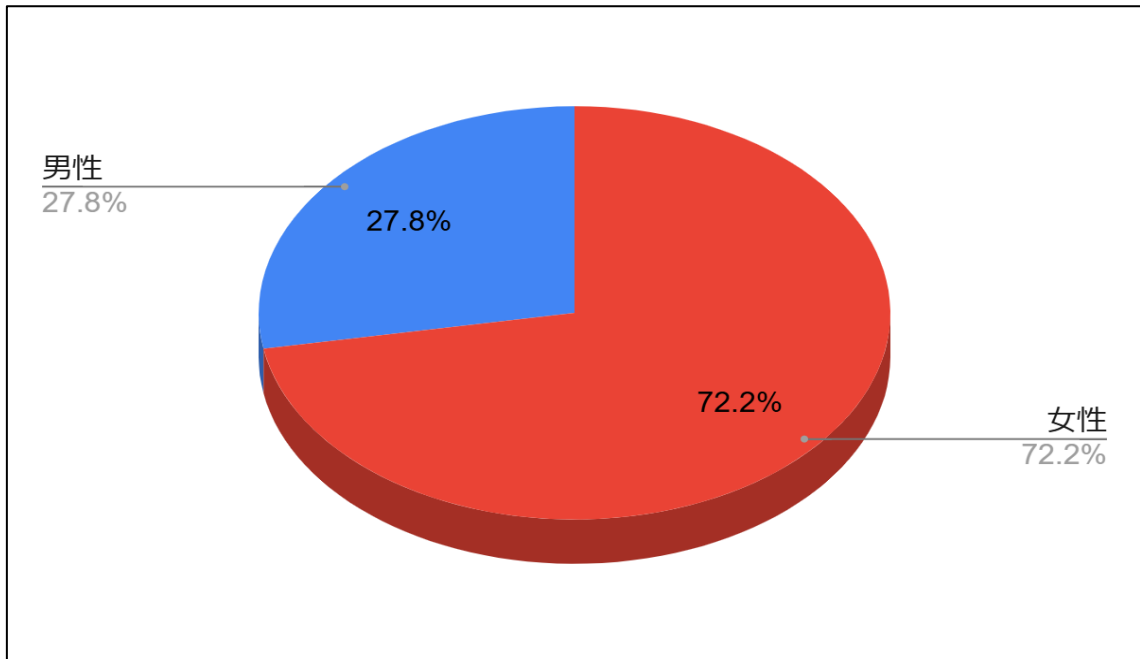
令和6年度 第4回在宅医療・介護関係者研修会

『在宅医療における整形外科疾患』

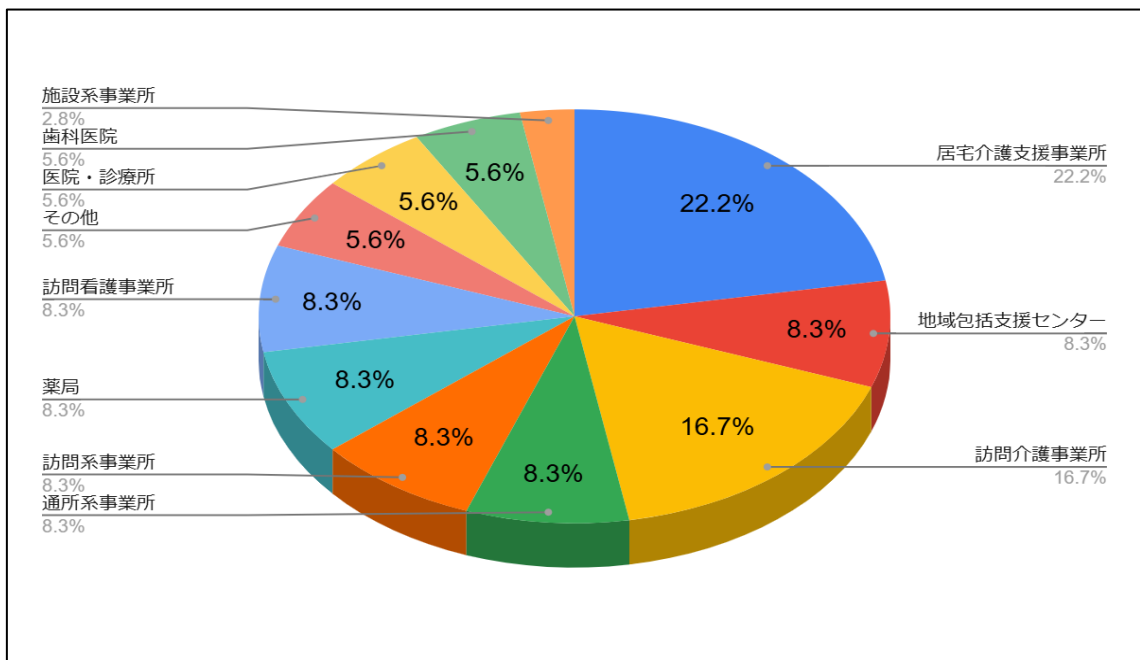


参加者： 38 名 回答者数： 36 名（回収率 94%）

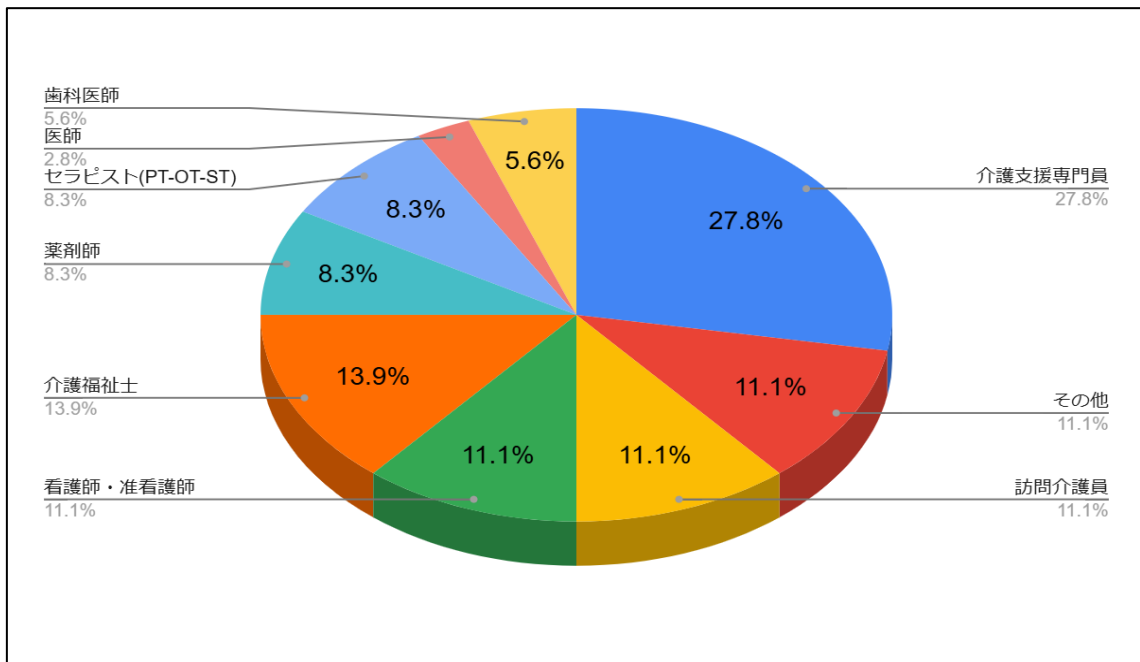
1. 性別（男性 10 名/女性 26 名）



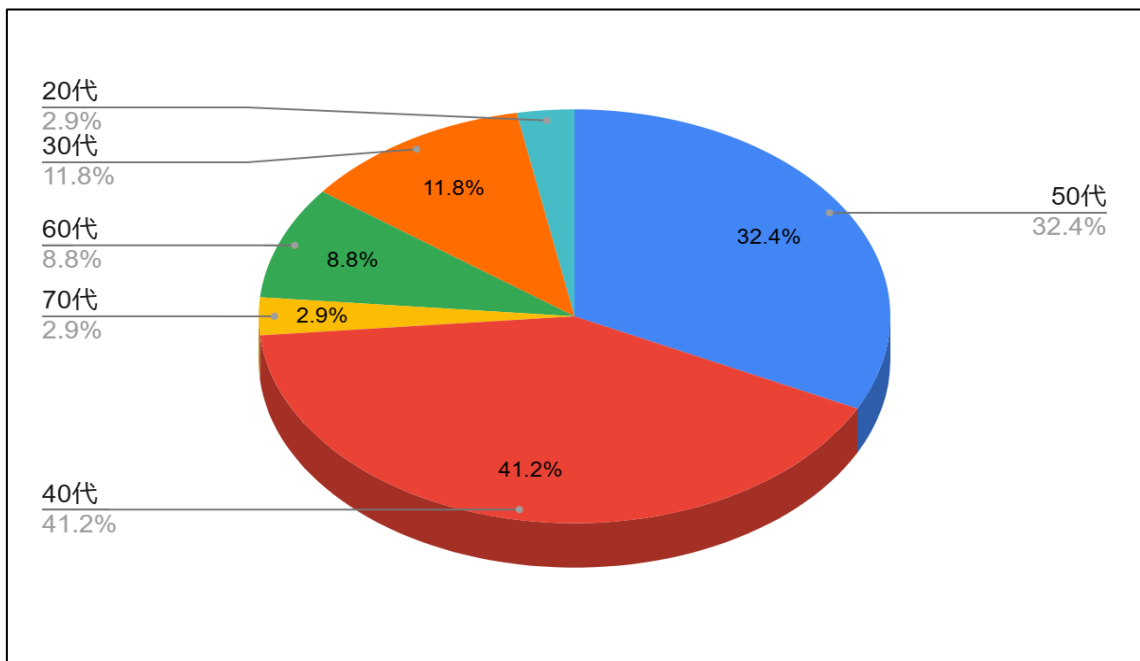
2. 所属



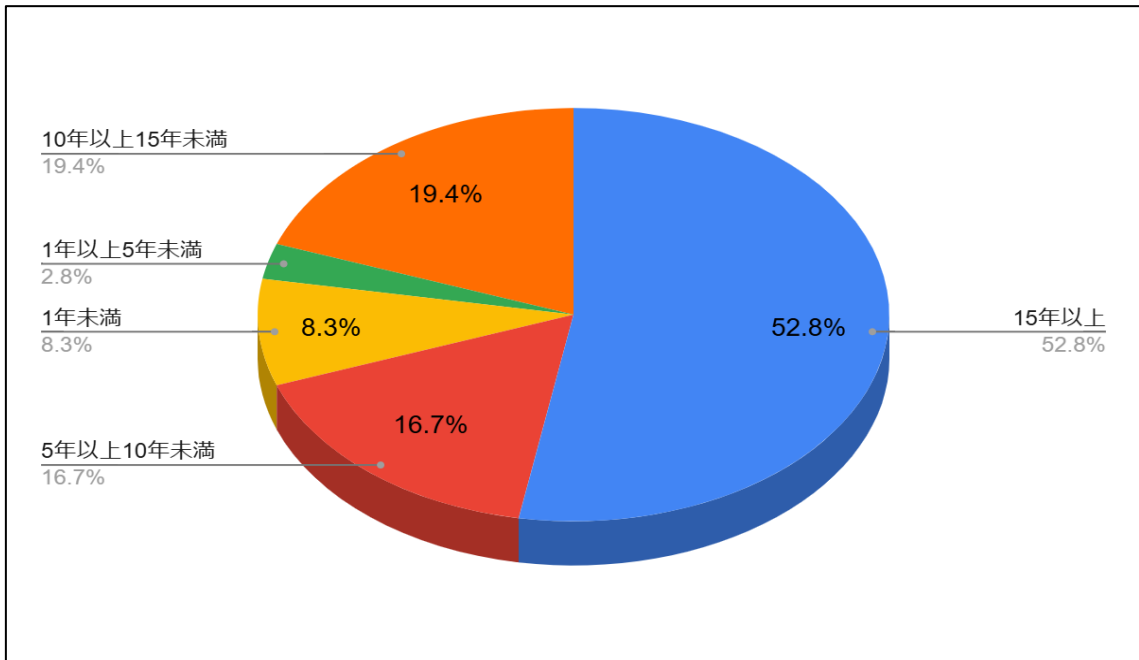
3. 職種



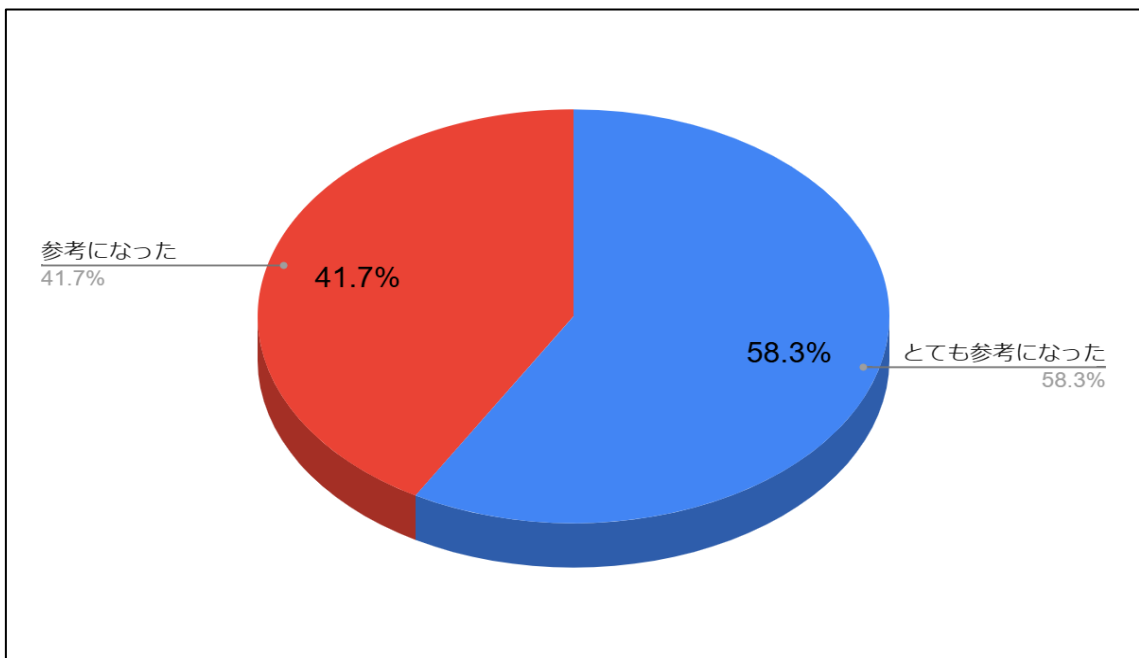
4. 年齢



5. 職場の経験年数



6. 本日の研修内容はいかがでしたか



7. 本日の研修の感想をご自由にお書きください。

- ・整形外科の先生のお話を聞く機会はあまりないので、貴重な機会を作っていただき、ありがとうございました。高齢者の方に関係の深い、ロコモや骨粗鬆症、寝たきり骨折のお話とてもためになりました。内科医（主治医）との連携はうまくとれているが、整形外科医とはあまり連携がとれていないので、このような研修会でお話を聞きたいと思う。
- ・私達にもわかりやすく説明して頂いたのが良かったです。基礎が福祉職なので医療用語が多いと理解できないので。業務に活かせる内容でした。
- ・骨のこと等、知らない事も多く勉強になりました。実際に利用者様にも伝えられる内容だったと思います。また、ロコモの事をデイサービスセラピストにも伝え、必要によって検査・受診につながればと思いました。寝たきり骨折の費用はびっくりしました。
- ・要支援・要介護認定の原因疾患の25%が整形外科関連である事を再確認し、日々の活動の中で予防に取り組める様な関わりを持って行きたいと思った。また、診断と治療わかりやすく説明を受けて良かったので、持ち帰り事業内でも共有したいと思った。
- ・腰痛圧迫骨折：2/3症状出現、1/3レントゲン上で発見→本人が気づかないうちに骨折しているとは知らなかった。骨折→寝たきり→施設の流れになる高齢者は増えており、退院先の施設の空きがない状況や独居で在宅生活困難な方増えている。骨粗鬆症がわかった時点で、早目の治療やロコトレの必要性があることを今回の研修でより感じました。骨折後、受診を拒否したり、内服（注射）での治療を拒否している方がいるので、この資料で担当の利用に納得していただけるように説明します！うちの父は圧迫骨折入院中にインフルエンザ、コロナに感染し、寝たきりになってしまいました。私も早めにカルシウム、ビタミンD、ビタミンK、運動、日光浴に取り組みたいと思います。
- ・整形外科受診の目安を知る事ができました。利用者様からの相談があれば、アドバイスしたり、専門職につなげられるように支援していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・自宅や用具が揃っていないところで、評価する方法が分かって良かった。ロコモの方々に整形外科受診を進めて良いことが分かって少し利用者様と関わりやすくなった。骨粗鬆症のデータの見方が分かって良かった。
- ・身近なことで、とても良くわかりました。ありがとうございました。今後、利用者の方へもお話ししたり、病院を勧めたりしたいと思います。
- ・転倒時に骨折有無の判断、対処の仕方がわかった。自分自身、年齢的にロコモ度テストをやってみようと思った。

- ・一度骨折すると、なかなかつかないステロイド性の骨折がある。身長低下は骨粗鬆症の疑いと聞いてショックでした。カルシウム 1 日 700 mg～800 mg とるのがいいが、カルシウムだけではダメでカルシウムとビタミン D を組み合わせることが骨密度上昇や予防に効果がある。ビタミン K（卵、納豆、ほうれん草など）1 日 250～300 mg。サプリメントで摂取すると心疾患のリスクが考えられるので食品から摂取が望ましい。
- ・ロコモティブシンドローム診断、自分の親にもやってみようと思います。
- ・生活や予防に特にポイントを当てていただき、分かりやすかったです。ありがとうございました。リハで見かけるトレーニング内容よりも軽いのが驚きました。
- ・興味あるテーマで良かったです。
- ・参加させていただきありがとうございました。
- ・利用者、家族への説明の参考にさせていただきます。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすかったです。高齢の方は、湿布などをもらい、リハビリ治療等には期待されてない方が多いようですが、これからは積極的な声かけをしていきたいです。
- ・大腿骨骨折を疑うポイント等わかりやすく解説していただいたので、勉強になりました。
- ・日々のロコトレを行い、日頃からの筋力低下予防が必要。
- ・知ってそうで知らないことがあり、大変勉強になりました。食事、日光浴など具体的な内容も教えていただき、今後利用者様に転倒予防、骨折予防となるよう支援を行っていききたいと思います。
- ・骨粗鬆症は、誰も身近な疾患だと思うので、講義していただいて参考になりました。日々、日常気をつけたいと思うし、伝えたいと思います。
- ・ロコモは自分自身 近づく加齢で、ロコトレの必要性を感じました。ロコモ度テストを試みたいと思います。
- ・わかりやすい講義をありがとうございました。
- ・認知症で腰痛の具合など自分でうまく伝えることが出来ない方を担当しているので、寝たきりにつながる骨折、骨折時の特徴を知ることが出来たので、そういった症状が出ていないかなど確認していきたいと思います。
- ・ロコモは言葉だけだったように思います。あまり意識した事がなく、高齢者と関わる中ではきちんと意識しないといけないなと思いました。ロコモ度テスト、自分もしてみたいと思います。
- ・研修で再確認できたことも多くあったので、日頃の評価やエクササイズに取り入れていきたい。

- ・両親が今後、介護が必要となる世代になります。私も仕事をしているため、寝たきりにならず、可能な限り、元気に過ごしてもらえよう、まずトレーニングから始めてもらおうと思いました。
- ・とても参考になりました。
- ・すごくわかりやすかったです。
- ・骨折に進行する前の予防が重要と思いました。たくさんの質問にわかりやすく説明していただきありがとうございました。
- ・ロコモティブシンドロームという言葉始めて知りました。立ち上がりテストを行い、診断を試みたいと思います。また、高齢者は骨粗鬆症の方が多く、転倒リスクも高い為、気をつけなければならないと改めて感じました。
- ・ロコモティブシンドロームという言葉始めて聞きました。自宅でできる簡単な診断があるので、高齢者の方にすすめていきたいと思いました。大腿骨髌部骨折で手術が遅くなると死亡率が高くなると聞いたので、疑いがある人は受診をすすめていきたいです。

